

また、子どもの発達において、直接顔を合わせてのコミュニケーションや、会話や遊びの中で現実体験を共有することが、豊かな心の成長に重要な役割を果たすことから、社会教育を中心にさまざまな体験学習の機会を提供してまいります。

3 家庭と地域のつながりづくり

核家族化が進行し、地域との関係性が希薄化している現代社会において、「家庭と地域のつながりづくり」は重要な課題となっており、

これまで長年培ってきた教育振興運動を基礎に、今後はコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)により、保護者や地域と学校が情報や課題を共有し、共通の目標・ビジョンを設定し、組織的かつ継続的な連携・協働体制の構築に努めてまいります。

まちづくりと生きがいづくりのための社会教育の充実

「生涯学習の機会の提供」「地域課題を考え合う学びの場づくり」「生涯スポーツの振興」を柱に、以下の3点を重点施策として取り組んでまいります。

2 世代を超え地域で学ぶ平泉学

子どもから大人まで、地域全体で学び合う学習活動を「全世代型平泉学」として位置づけ、多くの町民が地域の事を学び合う機会の充実を図ってまいります。

そのため、平泉学を軸に教育振興運動や地域学校協働活動を積極的に推進し、子どもを中心に地域住民が集まる場を創出することで、世代間交流の促進や、地域活動の活性化を図り、豊かな地域コミュニティの構築につなげ、持続可能なまちづくりを目指してまいります。

芸術文化の振興と文化遺産の次世代への継承

「人材の育成」、「文化活動の振興」、「文化財の保護」を取り組みの柱に、次の3点について重点施策として取り組んでまいります。

1 地域の文化や遺産の価値を学び、伝えていく人材の育成

地域の文化や文化財に親しみを持ち、大切に語り伝える心を育むために、わくわく平泉学スクール、地域学習、郷土芸能体験講座、幼稚園・保育所の園児による「謡」の取り組みや、文化財愛護少年団



7月に開館予定の学習交流施設「エビカ」

1 自発的・主体的な生涯学習の機会の提供

町の活力を生み、育てる平泉町学習交流施設「エビカ」を拠点に、指定管理者の持つ民間事業者の豊富な知識やアイデアを取り入れ、高度化・多様化するニーズに対応した学習機会の提供を図りながら、町民の自発的・主体的な生涯学習の場づくりを進めてまいります。

2 地域課題を考え合う学びの場づくり

まちづくりの基盤である「郷土への愛着と誇りの醸成」を図るため、ライフステージに合わせた地域を知り、理解するための学習プログラムを継続的に提供し、多くの町民が互いに向き合い学び合う中で、地域課題を考え合う場を創出し、地域



町立幼稚園と平泉保育所の子どもたちの謡発表

の活動支援を行ってまいります。世界遺産の価値や理念、貴重な遺産を後世に継いでいく意識醸成を図るために、平泉世界遺産の日の記念事業、ときめき世界遺産塾への取り組みを進めて参ります。また、拡張登録に向けた調査研究を進めてまいります。

2 多様な文化活動の振興と地域力の向上

郷土への誇りと愛着を持ち、心豊かな地域社会を実現するために、文化芸術に接する機会の充実や文化活動の活性化を図ってまいります。

文化活動に取り組む環境の整備と神楽鑑賞会の開催など活動発

のことを自ら考え自発的・主体的に行動することができる人材の育成に取り組んでまいります。

3 健康づくり・体力増進のための生涯スポーツの振興

町民がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことができる地域社会をつくるため、気軽に参加できる体験プログラムやスポーツ大会などを開催するとともに、地域住民が主体的に運営する「総合型地域スポーツクラブ」との連携を図り、日常的にスポーツに親しむ機会の充実に取り組んでまいります。

過去に学び、今を見つめ、未来を考える「全世代型平泉学」

SDGsの理念に基づき、持続可能なまちづくりを推進するために、以下の2点について重点施策として取り組んでまいります。

1 幼保小中で取り組む系統的な平泉学

地域学習を通して、平泉の良さを理解し、平泉に愛着を感じ、誇りに思う子どもたちを育成してまいります。また、世界遺産としての平泉の文化遺産やその価値につい

表の場の提供をして参ります。また、後継者育成のため、平泉町芸術文化協会への活動支援や、後継者育成事業に取り組んでまいります。

3 文化財の調査研究の推進と適切な保護・活用

無量光院跡の整備につきましては、池北側の岬と入江の整備を行います。旧観自在王院庭園につきましては、池南東側と車宿北側の内容確認調査を実施し、再整備に向けた資料の蓄積を図ってまいります。

埋蔵文化財の保護につきましては、開発事業との調整を図りながら必要な調査を実施し、遺跡の保護に努めて参ります。また、12世紀当時の様相を知る上で欠かせない



観自在王院跡で行った発掘調査説明会

て理解を深め、文化遺産を尊重する態度を育成してまいります。さらに、平泉学を通して、未来の自分や平泉、平和への願いについて考え、発信しようとする態度を育成することを目指してまいります。

見たり、聞いたり、行事などに参加したりする「参加体験型学習」、資料などから平泉を知り、話し合い、知識を深める「地域思考型学習」、他の地域で平泉を発信し行動する「発信行動型学習」という3つの学習をサイクル的に進めることで、より質の高い学びを目指すとともに、「黄金平泉情報発信プロジェクト」や「わくわく平泉学スクール」など、社会教育と連携した学習へも継続的に取り組み、まちづくりの基盤となる「郷土を想う心の醸成」に努めてまいります。



長島保育所の子どもたちがリンゴの収穫を体験

調査内容につきましては、現地説明会、調査報告会の開催や、広報などへの掲載を行うとともに、関係機関と連携しながら研究成果の情報発信を行ってまいります。毛越寺保存修理及び達谷西光寺所有の木造不動明王座像保存修理につきましては、事業主体である所有者との連携を図りながら、必要な支援を行って参ります。未指定の文化財につきましては、専門家の指導を得ながら現地調査を行い、価値の掘り起こしに努めてまいります。

おわりに

以上、基本的な考え方と施策の概要について申し上げますが、町民の負託に応えらるよう努力してまいりますので、議員の皆様並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

令和4年3月7日

平泉町教育委員会

教育長 吉野 新平